

トトロ通信 NO. 27

2014年7月号
津山・きびの会通信
〒708-0863 津山市小桁137-2
Tel 0868-23-0028
川島宅 23-3294

池上正樹氏との懇談会

岡山（40人）、津山（24人）、松江（40人）で講演会や懇談会を開き、5月14日には東京に帰られて、メールのお返事に池上さんからお電話がありました。

ローカル線をこよなく愛する彼は、姫新線と伯備線の旅を楽しみながら、松江のメル友との約束を果たしました。松江の新聞記者さんと県庁の職員さんが、池上さんのネット「引きこもり」するオトナたち」の欄で松江での懇談会の計画を知り、東京まで取材や面会を求めて行き、企画を膨らませ、6月11日には、KHJの池田代表をお呼びして、家族会を立ち上げることになったとのこと。

子どもの頃、場面緘黙症だったとのことで、引きこもり現象には特に敏感に反応する池上さんは、17年前からこの社会現象を追いかけてきました。これは単なる個人的な現象にはとどまらず、秘かに忍び寄る時代的な病理になりつつあります。放置することが許されない世界的な問題になることでしょう。

引きこもりの経験者は、今こそ自らの想いをカミングアウトする勇気を持ち、訴える時が来たように思います。全く個人的な感受性である引きこもり感覚を客観化する第一歩が池上さんの構想する「引きこもり大学」であると思われます。

池上さんとの懇談会で考えたこと(感想)

行政が、引きこもりの実態調査が出来ていないということで、国レベルでも何を基準にして実態把握をしているのがよくわかりませんでした。推定70万人とも言われているようですが、それは相談を受けたりしている人の数ですから、実際にはもっともっと多いのではないかと、200万人以上との推定もあるようです。

今回の懇談会に岡山・きびの会から若者が2人来られて、かなり活発な意見を言われ、仲間作りの活動などにも取り組んでいることが語られ、私たちの会も連携して活動できればいいのではないかと思います。

一方では家族の方が当事者の対処の仕方などに大変悩み、勇気を出して今回初めて来られたという方もおられました。まだ、いろいろと悩んでおられたり、一歩が踏み出せない家族の方も多と思います。プライバシーの問題もあり、他人に知られたくないという理由から、適切なサポートを受けられないという人もいます。それらの方々に対して、どのような支援をしていけばいいのか、考えさせられました。津山・きびの会ではこのような混沌とした状況の中でも、希望の光を見出していけるような活動に取り組んでいけたらいいと感じました。

にぎわい市に参加しました

恒例の第14回「にぎわい市」に、若者を含めて16人が参加しました。当日は、焼きそばセット、味噌、コーヒー等々を準備しました。

汗びっしょりでそばを焼く人、それを手際よく売る人、会計をする人、わざわざ宣伝を兼ねて売りに出かける人など、それぞれ自分の持ち分を存分に発揮して取り組むことができました。売り上げるたびに笑顔がはじけました。また、知り合いの人が来てくれて、懐かしく話がすすむ事もありました。

当日は暑くて大変でしたが、みんなの充実した表情が印象的で、心地よい疲労感にひたりました。今回の「にぎわい市」の活動を通して、きびの会への理解も深まったと実感した次第です。

トトロの庭・トマトやレタスが...

この夏は野菜が次々育っています。プランターと花壇に植えていますが“元気ボカシ”の威力で随分と元気です。サニーレタスはもう収穫中（6月6日現在）。ミニトマト3本、小玉スイカ、瓜は3本です。

そしてゴーヤとへちまも植えました。裏には皇帝ダリア植えてますのでお楽しみに。



お食事会をしませんか？

ボウリング・カラオケ・ドライブ・お食事会・の中で何をしたいか？何人かの若者の希望を聞いたところ、お食事会が人気ナンバーワンでした。7月に若者が中心で、しかも若者だけではない食事会をしませんか？若者には1,000円の補助がありますから、ぜひ参加を！若者でない方もぜひ参加を！宴会ではありませんが、アルコールを少し飲んでもOKにしませんか？いいお店があったら紹介してください。